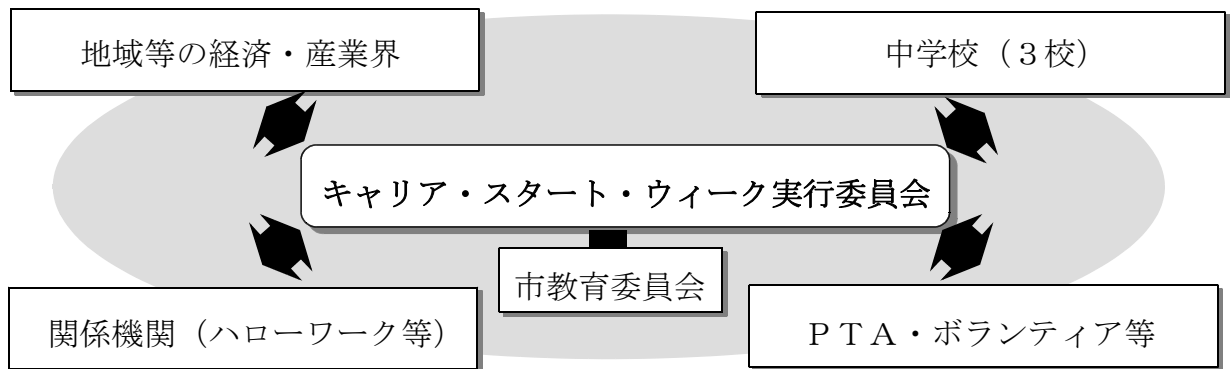




## 【組織関係図】



### ②実行委員会における会議開催日毎の主な活動の内容（議論の内容）について

#### ◇第1回潟上市キャリア・スタート・ウィーク実行委員会

- ・日時 平成19年5月14日（月） 午後3時から午後5時
- ・内容 委嘱状手交、事業の趣旨説明、職場体験等の実施についての協議 など

#### ◇第2回潟上市キャリア・スタート・ウィーク実行委員会

- ・日時 平成19年9月21日（金） 午後3時から午後5時
- ・内容 取組の進捗状況について、体験期間中の対応について など

#### ◇第3回潟上市キャリア・スタート・ウィーク実行委員会

- ・日時 平成19年2月7日（木） 午後3時から午後5時
- ・内容 事業の成果と課題について など

### ③実行委員会における活動の成果と課題について

#### ◇成果

- ・実行委員会で各学校や関係機関が一同で協議することにより、事業について共通理解を深めることができた。
- ・各学校が職場体験の進捗状況を報告することにより、互いに情報交換する場となり、各学校の職場体験を一層充実させることができた。
- ・市の広報やキャリア・スタート・ウィークのパンフレットの配布などにより、地域の方々にキャリア教育の必要性を広めることができた。

#### ◆課題

- ・受け入れる事業所の方を実行委員として委嘱する必要があった。
- ・実行委員会として受け入れが可能な事業所を開拓する工夫が必要であった。

### ④実行委員会の活動の課題に対する取組方針について

- ・今年度実施した体験先の代表の方を委員として委嘱することを検討する。
- ・商工会の会議等を利用してアンケート調査を実施し、受け入れ可能な事業所を把握する。

## (2) 推進地域における活動の具体的内容及び成果と課題

### ①推進地域における総学校数【( )内は、本事業における職場体験を実施した学校数】

市町村名	総中学校数	職場体験を受け入れた総事業所数(純計)
潟上市	3 ( 3 )	79

### ②推進地域における活動の具体的内容について

- ・関係機関への協力依頼（4月～5月）
- ・市広報「かたがみ」への体験活動実施の記事を掲載（6月）
- ・職場への体験受入の依頼
- ・職場体験先への依頼状発送
- ・職場体験期間中の巡回
- ・事後アンケートの作成と実施、集計、分析
- ・市広報「かたがみ」への体験活動実施後の記事を掲載（11月）
- ・職場体験先への礼状発送
- ・記録集の作成

### ③推進地域における活動の成果と課題について

#### ◇成果

- ・市内全中学校がほぼ同時期に職場体験に取り組み、キャリア・スタート・ウィークや中学生の職場体験に関する意識の高揚につながった。
- ・地域の方々と中学生とのふれあいとなり、中学生に対する理解が進んだ。また、中学生にとっては、地域を理解するよい機会となった。

#### ◆課題

- ・地域に中学生の職場体験を受け入れる事業所等が少ないことが、大きな課題である。地域の方々の理解と協力を得ることができるよう、さらに啓発活動を推進する必要がある。

### ④推進地域の活動の課題に対する取組方針について

- ・商工会や自治会長などに協力を依頼したいと考えている。また、地域の住民でもあるPTAからも協力を得て、職場体験先の確保に努めていきたい。

### (3) 職場体験実施校（本事業による）における活動の内容及び成果と課題について

#### ①実施校における活動の内容について

##### 【天王中学校】

- ・キャリア教育年間計画の作成（4月）
- ・ガイダンス（生徒向け、保護者向け）（4月）
- ・職業観・勤労観を育むキャリア教育学習プログラムの作成（5月）
- ・職業講話シリーズ第1回「働くことについて考える」の実施（6月）
- ・職業講話シリーズ第2回「ビジネスマナーについて考える」の実施（7月）
- ・本校におけるキャリア教育「校内研修会」の実施（8月）
- ・職場体験の実施（平成19年10月15日～10月19日）
- ・職場体験発表会の実施（11月）
- ・東京都内職場見学の実施（11月 修学旅行）
- ・報告集（まとめの冊子）

##### 【天王南中学校】

- ・キャリア・スタート・ウィーク実施計画作成（4月）
- ・キャリアガイダンスの実施（1回目：9月25日、2回目：10月2日）
- ・保護者説明会の実施（10月2日）
- ・職場体験の実施（10月22日～10月26日）
- ・職場体験発表会の実施（11月6日）

##### 【羽城中学校】

- ・キャリア教育年間計画作成（4月）
- ・ガイダンスの実施（9月）
- ・フレッシュワークAKITAによる職業講話（平成19年9月21日）
- ・職場体験の実施（平成19年10月15日～10月19日）
- ・職場体験のまとめ（レポート）

#### ②職場体験の主な受入先について（概要）

天王中学校31事業所、天王南中学校23事業所、羽城中学校27事業所

- ・建設・製造業関係：土木建設、電気・電子、造園、食料品、繊維製品など
- ・小売、サービス業関係：商店、スーパー、コンビニエンスストア、ガソリンスタンド、クリーニング、花屋、自動車修理など
- ・金融・保険業関係：銀行
- ・飲食店、宿泊業関係：レストランなど
- ・医療、福祉関係：病院、福祉施設、保育園など
- ・教育関係：幼稚園、図書館、公民館
- ・公務関係：消防署、農業試験場
- ・農林業関係：農園
- ・その他：廃棄物処理業、郵便局、寺院など

### ③職場体験の受入先の開拓方法について

- ・昨年度実施した職場体験先をもとにしながら、新たな受け入れ先を職業安定所や商工会から提供された事業所のリストを参考に連絡を取り、開拓した。

### ④実施校における活動の成果と課題について

#### ◇成果

##### 【天王中学校】

- ・第1回目の職業講話において地域で働く人をアドバイザーとして招き、仕事に就くまでの体験談や心構えについての話をしてもらい、生徒にとっては地域に根ざして働く人たちのさまざまな思いを知るよい機会となった。また、ハローワーク秋田の就職促進指導官から、「何のために学ぶのか」、「何のために働くのか」、その意義や目的について講話と演習を受け、生徒は学ぶことや働くことの大切さを理解することができた。第2回目の職業講話では、基本的なマナー、接客の心構え等について学び、生徒が実際の職場でさまざまな人たちと適切なコミュニケーションをとる上でとても貴重な活動となった。
- ・職場との事前打ち合わせの情報をもとに職場体験先の求人票を作成し、生徒に各自の適性に照らし合わせながら、興味・関心のある職場を選択させ、その結果を社会人と同じく採用通知という形で知らせたことにより、参加意欲を高めることができた。
- ・職場体験の内容は屋内での活動はもとより、配達業務など屋外における活動と多岐に渡り、予想以上に多くの仕事を生徒に体験させることができた。また、PTAの方々も巡回に協力し、生徒の活動の様子をレポートにまとめて報告してくれたことで、全体の様子を皆で再確認することができた。事業所では、中学生の教育に積極的に関わろうとする意識をもって、活動を受け入れてくれた方々が多く、地域との連携という面でも大きな成果があった。その中で生徒は、人と社会に貢献することや仕事に対する責任感等を、職場の方々から改めて学ぶことができた。さらに、実際に仕事を体験する中で、生徒自身が働くことの大変さや責任、厳しさ、楽しさ、やりがいなどを実感することができ、職業や働くことに対する意識を深めることができた。さらに、職場の人とのふれあいを通して、人間関係を築くことの大切さや社会生活のルールとマナーを守ることの大切さにも気付くことができた。
- ・職場体験発表会では事業所や保護者の方々にも出席いただき、成果を皆で再確認することができて、大変有意義な発表会になった。

##### 【天王南中学校】

- ・従来の職場体験では仕事の一端しか体験できなかったが、5日間の体験活動であったので、様々な仕事内容を体験でき、職業についての理解も深まった。
- ・生徒は時間を意識することや挨拶、返事、言葉遣いなど、マナーの大切さも学ぶことができた。また、仕事の楽しさや大変さなど、学校生活や家庭生活では味わうことのできない充実感や達成感を味わうことができた。

### 【羽城中学校】

- ・ 5日間の職場体験を通じて、働くことの大変さを実感したり、工夫することでやりがいを感じたり、感謝されることで喜びを味わったりすることができた。多くの生徒が自分の進路や将来の生き方を考えるきっかけになったと感じることができた。
- ・ マナー講習会であいさつや身だしなみの大切さを学び、このことを職場体験で生かすことができた。
- ・ 生徒に自宅から近いという条件でしか職場を選ばせることができなかった。どこの職場であっても「5日間続けて働く」という経験ができることについて前向きに受け止めてほしいという教師の願いを生徒が十分に感じて、職場体験をやり遂げることができた。

### ◆課題

#### 【天王中学校】

- ・ 今年度の取組を来年度にも生かして、キャリア教育を推進していきたいと思うが、体験できる職種が限られている上、受け入れ可能な事業所が多くはない。事業所が小さければ、受け入れたくても職員が少ないので、生徒に十分な対応ができないという理由で断念した事業所も多かった。
- ・ 3日間の活動であれば、これまでの実践を考えると比較的可能であるが、5日間となると、学習時間の確保、事前の準備にかかる時間数、受け入れ可能な事業所数、経費や安全対策などの問題に対する手だてが大きな課題である。
- ・ 適性に応じ、職業や進路に関する興味・関心の深まりが感じられるような貴重な体験活動にするための事前・事後指導の在り方が課題である。

#### 【天王南中学校】

- ・ 総合的な時間の中での時数配置であり、他のテーマ学習の活動が終わってからの取り組みであったので、職場体験の事前指導が希薄になった。また、その後に控えた宿泊研修の準備もあり、事後指導もまとめ程度で終わった。
- ・ 地域を中心とした職場選択が困難で、受け入れていただいた事業所の半分以上が幼稚園や保育園、老人福祉施設であった。老人福祉施設については、受け入れ人数が40人を占めていたのに対し、第1希望の生徒が2人しかいなく、第4希望の中からも10人程度選ばなければならなかったこともあり、活動意欲に差があり、迷惑をかけてしまった事業所もあった。
- ・ 全体的として、スーパーや作業所、農園などの人手が必要な職業では比較的よく活動できていたが、幼稚園や老人福祉施設などの人を相手にする職業では、発達段階的にも中学校1年生には難しかったと感じた。

### 【羽城中学校】

- ・受け入れ先の開拓も含め、事業全般が担当学年に任せられ、修学旅行との時期も近く、学年の負担が多大であった。
- ・体験内容について、学校からの希望を受け入れ先に伝えた上で決めてもらったが、中には中学生にとって精神的に負担が大きいと感じる内容もあったことが体験中の生徒の様子や保護者のアンケートから分かった。また、職場の希望を十分に取らなかったことで不満を抱えながら体験する生徒や保護者がいた。
- ・体験活動に要した1週間分の授業時数の回復を1年を通じて行っているが、総合的な学習の時間の活動に大きな制約が加わった。

## ⑤実施校における活動の課題に対する取組方針について

### 【天王中学校】

今後も継続して生徒のキャリア教育を支援していくために、地域の人々や事業所等に対してキャリア教育の意義や目的について十分に理解してもらえるように努め、その上で地域の特性に応じたシステムづくりを進めていきたい。また、教育課程におけるキャリア教育の位置づけを見直し、興味・関心の高まりや安全の徹底などについて事前・事後指導の在り方を検討したい。

### 【天王南中学校】

生活圏域というとらえで、潟上市に隣接している秋田市の事業所にも協力を要請し、より活動の幅を広げていきたいと考えている。学級活動と総合的な学習の時間の年間指導計画の中に、キャリア・スタート・ウィークの活動を組み込んでいき、事前学習を充実させたい。なお、次年度以降は実施学年を2年生となるよう検討したい。

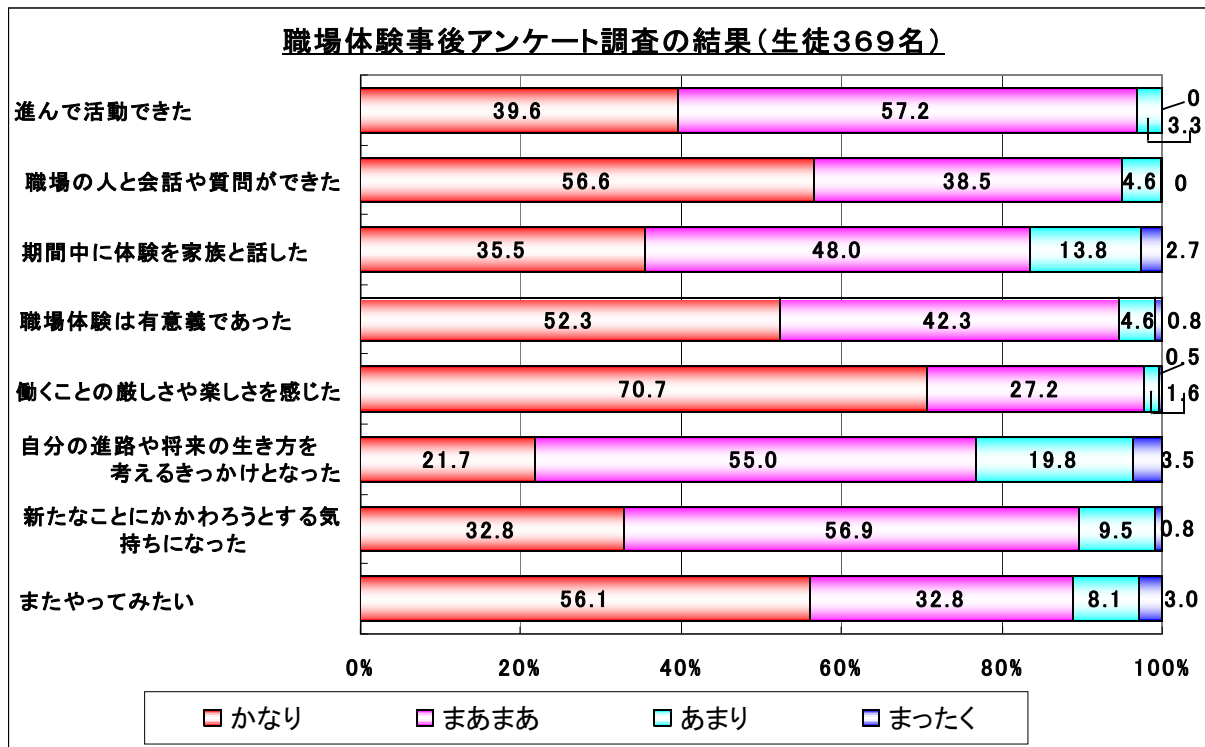
### 【羽城中学校】

- ・事業全般に対し学校としての協力体制を充実させ、受け入れ先の開拓にはPTAに積極的に協力を求める。
- ・継続して実施するのであれば、今年の体験内容を参考に受け入れ先との事前打ち合わせを綿密に行う必要がある。また、体験先を決める上で、業種や職場、地域など生徒が自分で選んだと思えるような方法を工夫する。

## ⑥実施校における児童生徒の勤労観、職業観に対する意識の変容等について

生徒への事後アンケートの結果では、「働くことの厳しさや楽しさを感じたか」という質問に97.9%の生徒が「かなり」または「まあまあ」と答えている。また、「自分の進路や将来の生き方を考えるきっかけとなったか」の質問には、76.7%の生徒が「かなり」または「まあまあ」と答えている。このことから多くの生徒は、体験を通して職業に対する意識が変わったものとする。

また、「自分から進んで活動ができましたか」という質問に、96.8%の生徒が「かなり」または「まあまあ」と答え、非常に積極的に体験に臨んでいることが分かる。5日間の実施期間について、生徒は概ね好意的にとらえているものとする。



⑦実施校の状況

学校名	教員数	生徒数	所在地(電話、FAX番号、Eメールアドレス等)	備考(学校HP等)
天王中学校	21	360	秋田県潟上市天王字宮ノ後3 TEL 018-878-2222 FAX 018-878-2309 E-MAIL tennoujhs@educet.plala.or.jp	<a href="http://www.city.katagami.akita.jp/school/tennou-jh/">http://www.city.katagami.akita.jp/school/tennou-jh/</a>
天王南中学校	26	388	秋田県潟上市天王字上北野4-38 TEL 018-873-4300 FAX 018-873-3373 E-MAIL tminami@educet.plala.or.jp	<a href="http://www.city.katagami.akita.jp/school/tennan-jh/">http://www.city.katagami.akita.jp/school/tennan-jh/</a>
羽城中学校	23	397	秋田県潟上市昭和大久保字元木田145 TEL 018-877-3211 FAX 018-877-3267 E-MAIL aad48570@pop01.odn.ne.jp	<a href="http://www.city.katagami.akita.jp/school/ujou-jh/">http://www.city.katagami.akita.jp/school/ujou-jh/</a>

⑧実施校における職場体験の実施状況について

学校名	体験生徒数 (学 年)	職場体験実施時期	職場体験の教育 課程上の位置付 けについて	受入事業所数	来年度の取組予定 について
天王中学校	124人 (第2学年)	10月15日 ～10月19日(5日間)	総合的な学 習の時間等	31	実施する予定
天王南中 学校	129人 (第1学年)	10月22日 ～10月26日(5日間)	総合的な学 習の時間等	23	実施する予定
羽城中学 校	132人 (第2学年)	10月15日 ～10月19日(5日間)	総合的な学 習の時間等	27	実施する予定

(4) 全体的な研究の総括と展望

職場体験は、生徒の職業観・勤労観の育成を図る上で有効であり、地域の方々との交流も深まり、地域の活性化にもつながる。市教育委員会として来年度も市全中学校で原則として5日間の職場体験を実施する。現在、平成20年度のキャリア・スタート・ウィーク実行委員会の準備に取りかかっているところである。

3. その他

○他府省事業等の連携について  
特になし。

4. その他特記事項

特になし。